



スギ中・大径材を原料とする “積層^{はり}接着合わせ梁”を開発しました！

木造住宅の梁桁用部材
輸入集成材から県産集成材への転換に向けて



120 × 300 mm

120 × 240 mm

120 × 180 mm

スギ積層(3層)接着合わせ梁の概観

“積層接着合わせ梁”は、今後、生産増が見込まれるスギなど中・大径原木から製材した幅広ひき板2～4枚を原料とし、一般の集成材と異なる方法で積層・接着した、木造住宅梁・桁用の“新しい構造用集成材”です。

裏面に、開発した積層接着合わせ梁の特徴・製造方法・性能について詳しい紹介があります。

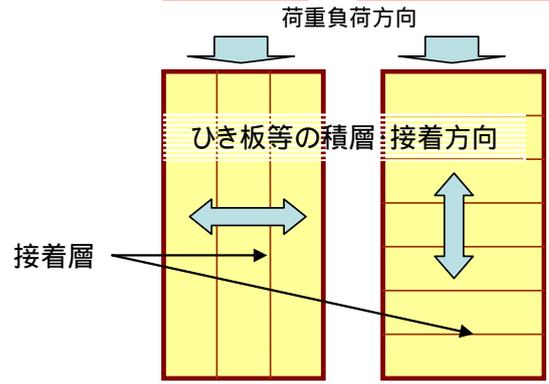


積層接着合わせ梁の特徴

- 一般の集成材梁と比べて、接着面(接着剤使用量)が少なく、製材工場でも糊付け機とプレス装置を導入することで、製造が行えます。
- 見た目(意匠性)が無垢材に近いため化粧梁(見掛かり材)として利用できます。
- スギ等の中・大径原木から寸法安定性、強度性能の確かな梁桁製品を歩留まり良く、製造できます。特に、平角製材梁に向かない高含水率原木を原料にできます。
- 3~4枚積層した材では、内側に節等が多い板を、外側にそれらが少なく意匠性の優れた板を用いて、製品の歩留りを高めることが可能です。

積層接着
合わせ梁

これまでの
(輸入)集成材梁

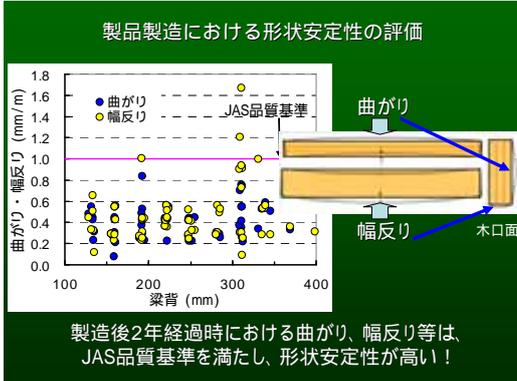
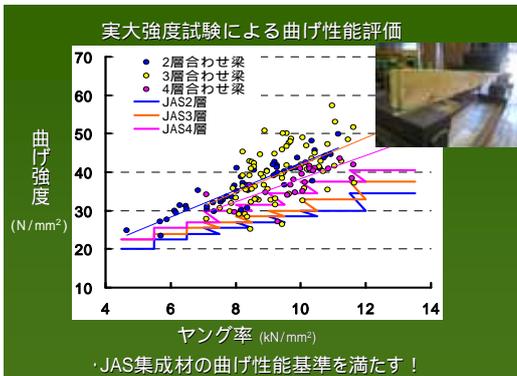


製造工程の概要



梁・桁用製品 断面寸法 120×240mmの例	積層接着 合わせ梁	これまでの (輸入) 集成材梁
原料	中・大径木 ひき板	小径木 ひき板
原料の使用枚数	2~4	8
原料の厚さ	3~6cm	3cm
原料の乾燥性		
接着等の製造効率		
製品の強度調整		
製品の意匠性		

梁桁部材として強度・形状安定性を検証



木造住宅の梁桁部材への利用

共同研究企業の江間忠ウッドベース(株)にて平成24年からモニター生産と製品供給を開始
生産量100m³/年 販売額800万円
浜松市内の長期優良木造住宅の梁桁に利用！



積層接着合わせ梁の詳細については、「木造住宅の梁桁部材への静岡県産スギ利用ガイド」をご覧ください。今後、共同研究企業のモニター生産から、県内の製材工場等でのJAS製品としての本格生産と製品の安定供給に向けた取組を進めます。

発行日：平成26年3月1日

編集：静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター

発行：静岡県森林・林業研究センター振興協議会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 (静岡県森林組合連合会内)

TEL (054)253-0195 FAX (054)253-2328

